

阿蘇くまもと空港コンセッション事業 旅客誘致、地域活性化などの取り組み

コンセッション事業推進セミナー
2020年1月28日

熊本国際空港株式会社
代表取締役社長 新原昇平

1.熊本国際空港株式会社（KKIAC）のご紹介

2.熊本空港特定運営事業等 提案概要のご紹介

3.路線の誘致および維持に向けて



熊本国際空港(株) (KKIAC)

代表者 新原 昇平

出資企業 三井不動産株式会社 (代表企業)
九州電力株式会社
九州産業交通ホールディングス株式会社
株式会社テレビ熊本
株式会社再春館製薬所
九州産交運輸株式会社
双日株式会社
日本空港ビルディング株式会社
株式会社サンケイビル
ANAホールディングス株式会社
日本航空株式会社

阿蘇くまもと空港民営化スケジュール

- ◆2019年 3月 優先交渉権者選定（コンペ当選）
 - ◆2019年 4月 熊本国際空港(株)設立
国と基本協定締結
 - ◆2019年 5月 国と実施契約締結（公共施設等運営権設定）
空港内に事務所開設
 - ◆2019年 6月 熊本空港ビルディング(株)株式取得
 - ◆2019年 7月 ビル運営事業開始
-
- ◆2020年 4月 空港運営事業等開始
別棟ビルでの運営開始
 - ◆2023年度 新ターミナル完成

民間委託（民営化）による運営体制の変更

		管制	滑走路	駐車場	空港ビル運営
運営	2020/3 まで	国	国	空港支援機構	熊本空港ビル(株) 2019/6子会社化
	2020/4 以降	国	熊本国際空港株式会社 (KKIAC)		熊本空港ビル(株)



民間による運営（民営化）

2. 熊本空港特定運営事業等 提案概要のご紹介

Master Plan

〈将来ビジョン〉

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ
— 地方空港No.1の国際線ネットワーク —

2051年度 目標値

- ◆ 国際線 **17** 路線
- ◆ 旅客数 **622** 万人
(うち、国際線 **175** 万人)
- ◆ SKYTRAX **5** スター を取得

<ビジョン達成のための5つの基本方針>



東アジア路線の戦略的誘致



世界水準の空港体験の提供



二次交通の拡大・拡充



地域との連携強化による需要創造



空港全体のレジリエンスの確保

基本方針1

熊本の地理的優位性

東アジアの成長性



東アジア路線の
戦略的誘致

国際線路線数

4→**17** 路線

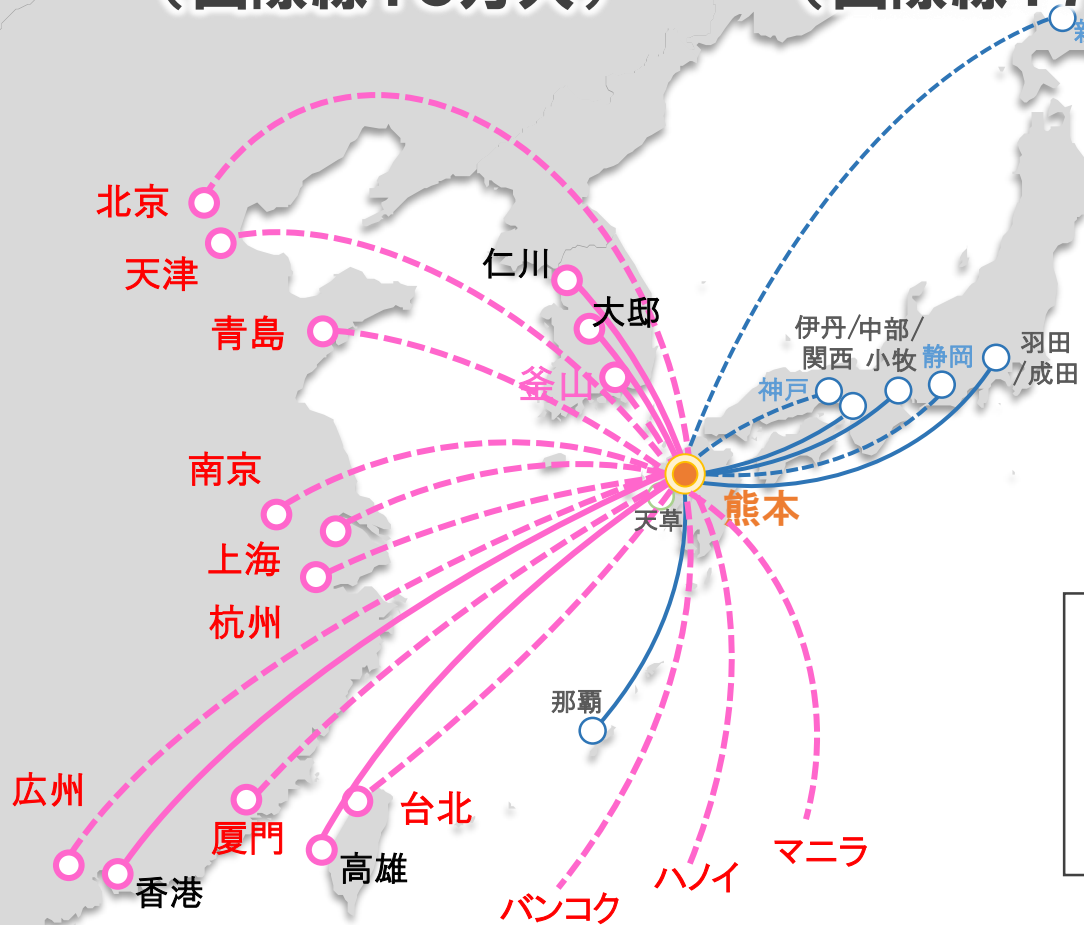
年間旅客数

334→**622** 万人



国際4路線 ▶ 17路線

旅客数334万人 ▶ 622万人
(国際線16万人) (国際線175万人)



	国際線 既存
	国際線 新規
	国内線 既存
	国内線 新規



熊本空港のポテンシャル

他の地方より東アジアに近い

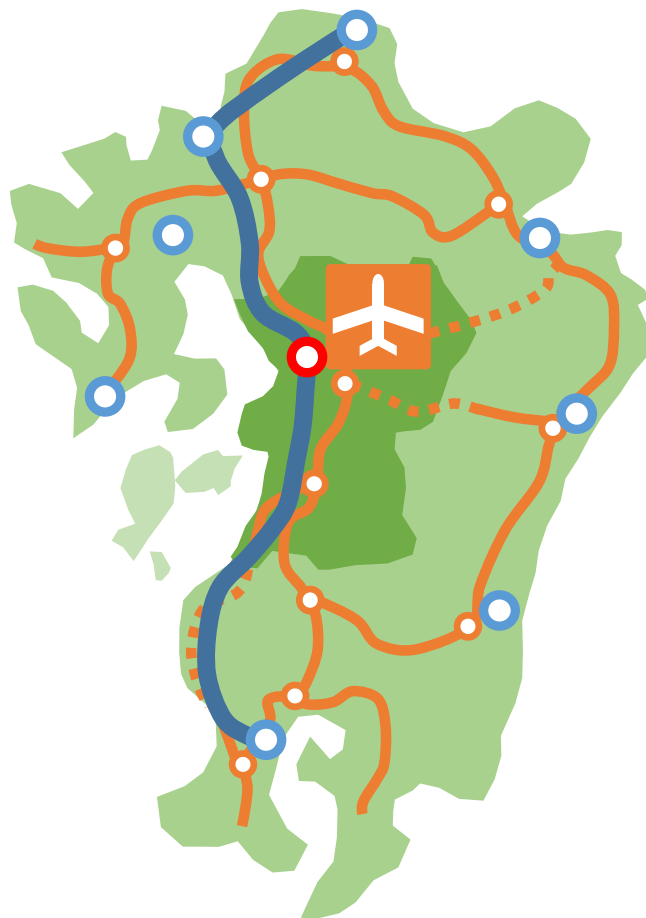




東アジア路線の戦略的誘致

熊本空港のポテンシャル

九州の中心にあり、 主要都市・観光地にアクセスしやすい



＜ビジョン達成のための5つの基本方針＞



東アジア路線の戦略的誘致



世界水準の空港体験の提供



二次交通の拡大・拡充



地域との連携強化による需要創造



空港全体のレジリエンスの確保

基本方針2

エアラインに選ばれる

旅客に選ばれる



世界水準の
空港体験の提供

SKYTRAX

5スター

総合満足度

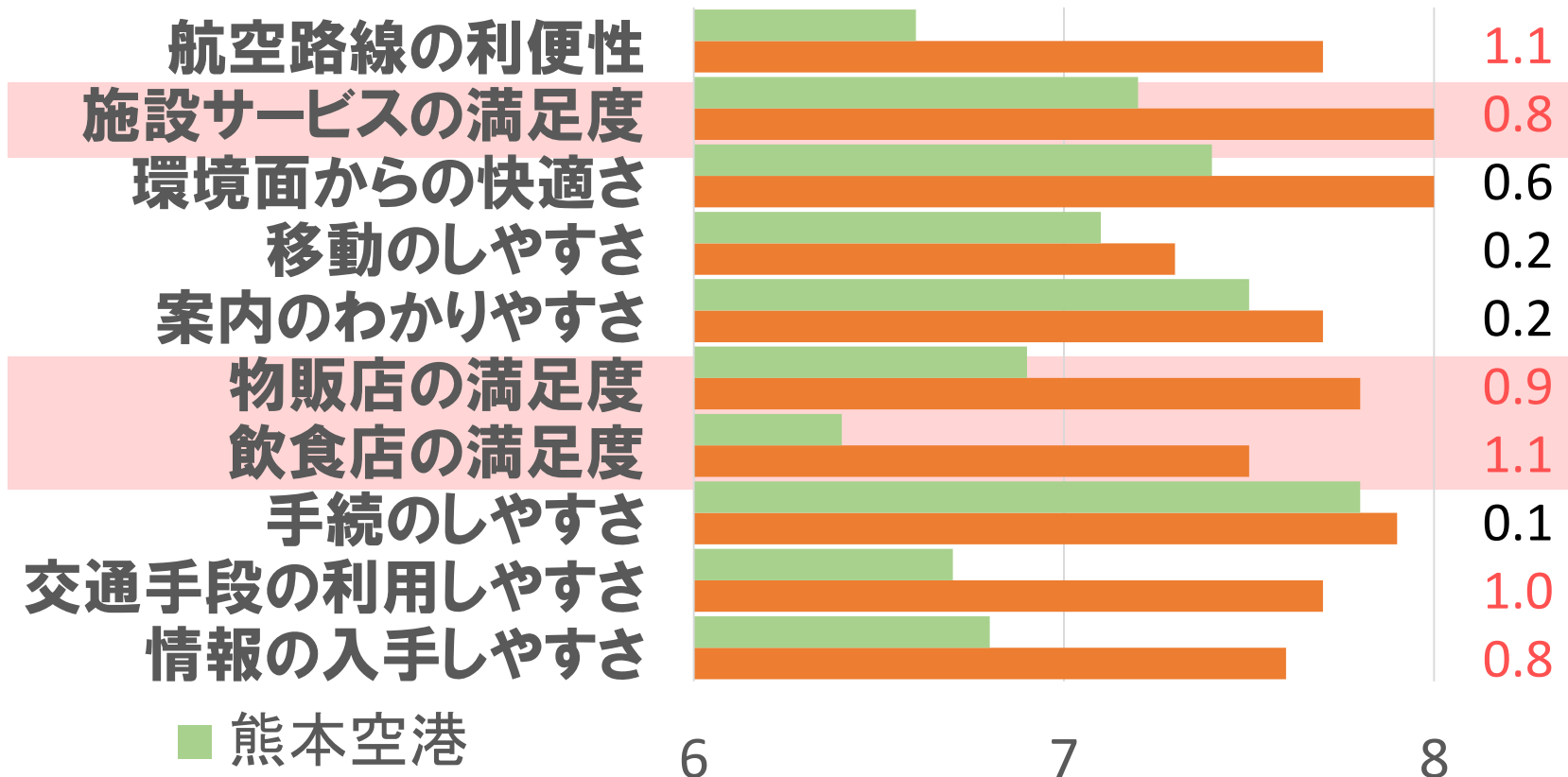
7.2→8.0



物販・飲食・サービスの満足度が低い

5スター空港(羽田空港)と熊本空港の満足度の違い(2018年度)

差異





充実したクリーンエリア MIXED GATE LOUNGE

従前

チェック
イン

買い物・食事

締切時間を気にしながらの
買い物・食事

保安
検査

搭乗待合

購買機会が限定的で、
「待つだけ」の空間

搭
乗

新
ビ
ル

チェック
イン

保安
検査

搭乗直前まで時間を気にせずに楽しめる

「MIXED GATE LOUNGE」



搭
乗



「MIXED GATE LOUNGE」の内際共用化

MIXED GATE LOUNGE



国内線旅客



搭乗



国際線旅客

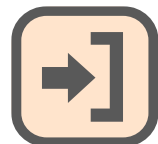


搭乗

2ルートを選択肢



最先端機器の導入による 世界水準のファストトラベル



自動チェックイン端末の導入



自動バゲージドロップの導入



スマートレーンの導入
CT型X検査装置対応 優先レーン



MIXED GATE LOUNGE
(ゆったり過ごせる)



ピーク時手続き
待ち時間を

30分から
10分以内へ

世界水準の空港体験の提供

選ばれる世界水準ターミナルビル



国内線・国際線共用の滞在型ゲートラウンジ

- ◆ 搭乗直前まで楽しく快適な時間が過ごせるよう、ゲートラウンジ内の店舗面積を大幅に拡張し、多様で魅力的な店舗を誘致

滞在型ゲートラウンジ



最先端機器を導入したチェックインロビー

- ◆ 出発エリアには自動チェックイン機器、その他スマートレーンやCT型X線検査装置等の最先端機器を導入し、ファストトラベルを推進

出発エリア



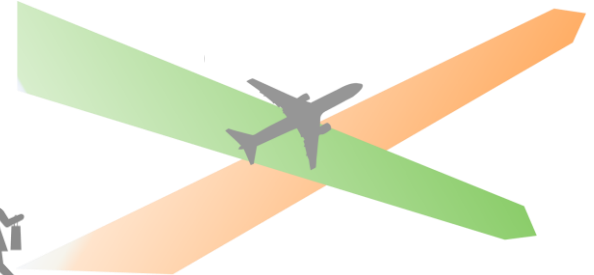
「食と旅」をテーマとした商業ゾーン

- ◆ 世界中から熊本を訪れた人々と地域の人々が交流する、すべての人々にひらかれた商業エリア

世界の人々



地域の人々



商業ゾーン



地域にひらかれた商業エリア

にぎわい広場



各種イベントが開催可能な広場

到着ロビー



観光客を迎え入れる到着ロビー

＜ビジョン達成のための5つの基本方針＞



東アジア路線の戦略的誘致



世界水準の空港体験の提供



二次交通の拡大・拡充



地域との連携強化による需要創造



空港全体のレジリエンスの確保

基本方針3

エアラインにとって、送客エリアの広さが重要



二次交通の拡大・拡充

バス路線線数

11 → **23** 路線

交通モード数

4 → **8**



- ✓ 九州他空港に比べて、送客エリアが限定的
- ✓ 市内中心部への速達性、定時性、輸送能力の不足



<方針>

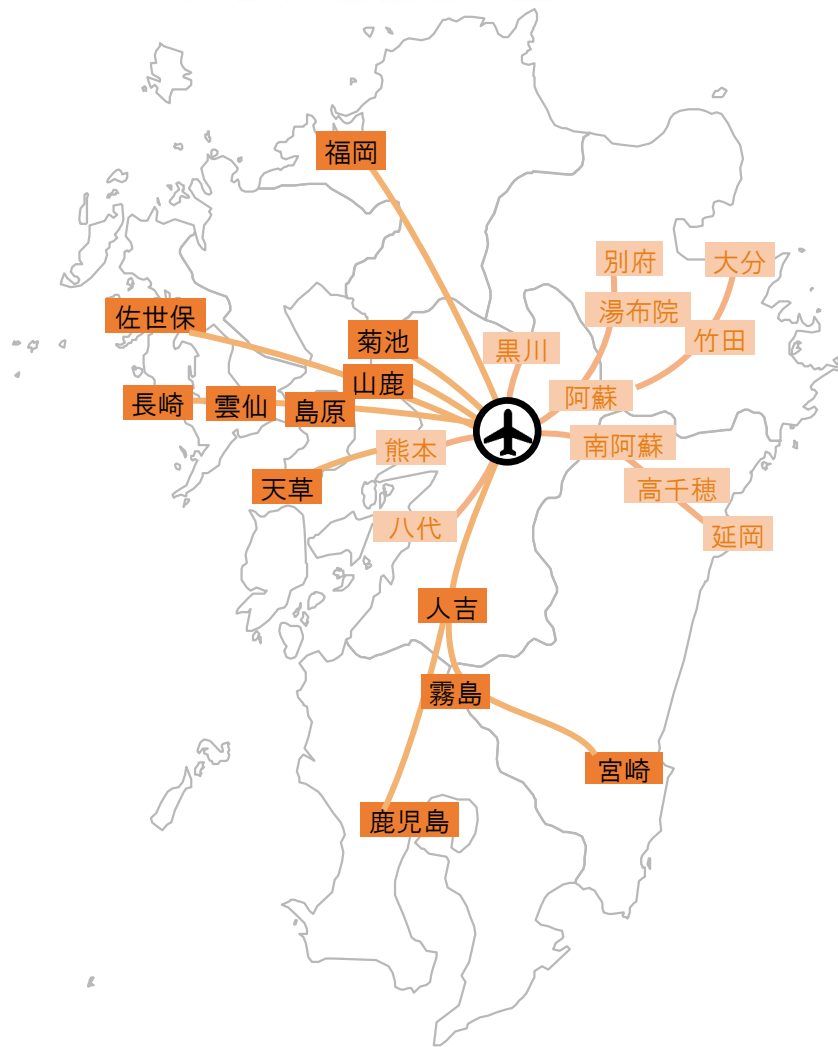
九州全域を送客エリアとする 二次交通網の整備

<主な施策>

- ✓ 観光地との接続強化
- ✓ 市内交通拠点との接続強化
- ✓ バス路線拡大のための定着支援



九州各地へのダイレクトアクセス強化



構成員/地元バス会社
直行バス路線倍増
23路線
(県外14路線)

基本方針4

エアラインの定着・自立に資する航空需要の確保



地域との連携強化
による需要創造

協議会等開催

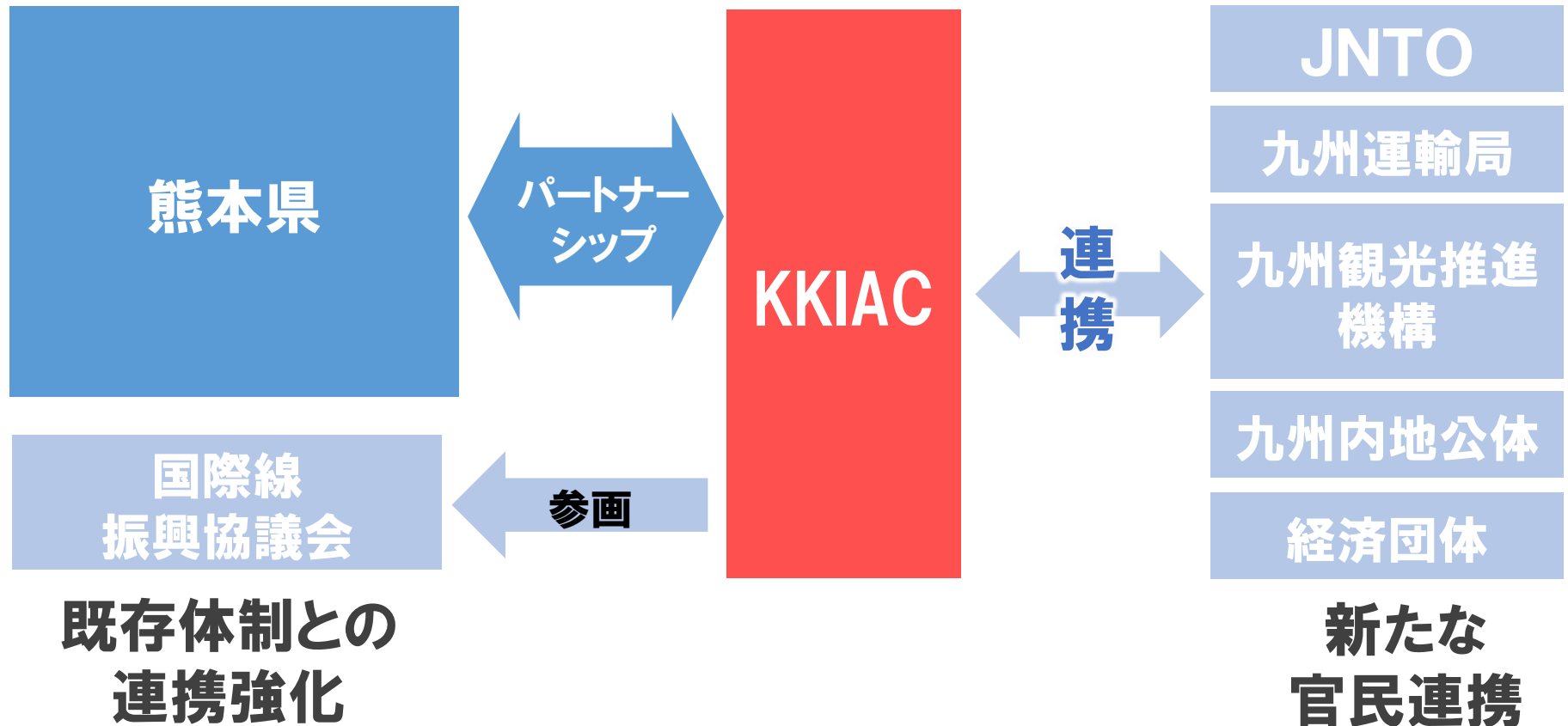
月 **1** 回以上

年間来訪非旅客数

87→**217** 万人



県との一体的な利用促進と、 新たな官民連携によるエリアセールス推進





インバウンド・アウトバウンド双方への 情報発信による航空需要創造



KUMAMOTO CROSSING



地域の人々



空港に行くと
楽しい・ワクワクする

自分も世界を旅したい

世界の人々



地域の情報を
知りたい・快適に旅したい

また熊本・九州を
旅したい

基本方針5

エアラインにも空港利用者にも、安全・安心な空港運営



空港全体の
レジリエンスの確保

年間滑走路
閉鎖率

0.0%

被災時の
旅客処理機能

平時の100%



＜レジリエンスに関する方針＞

空港利用者の安全・安心の確保と 空港機能の確保

＜主な施策＞

- ✓ 大規模自然災害に耐える新ビル施設の整備
- ✓ 災害時におけるKKIACのリーダーシップと
構成員の支援による早期復旧

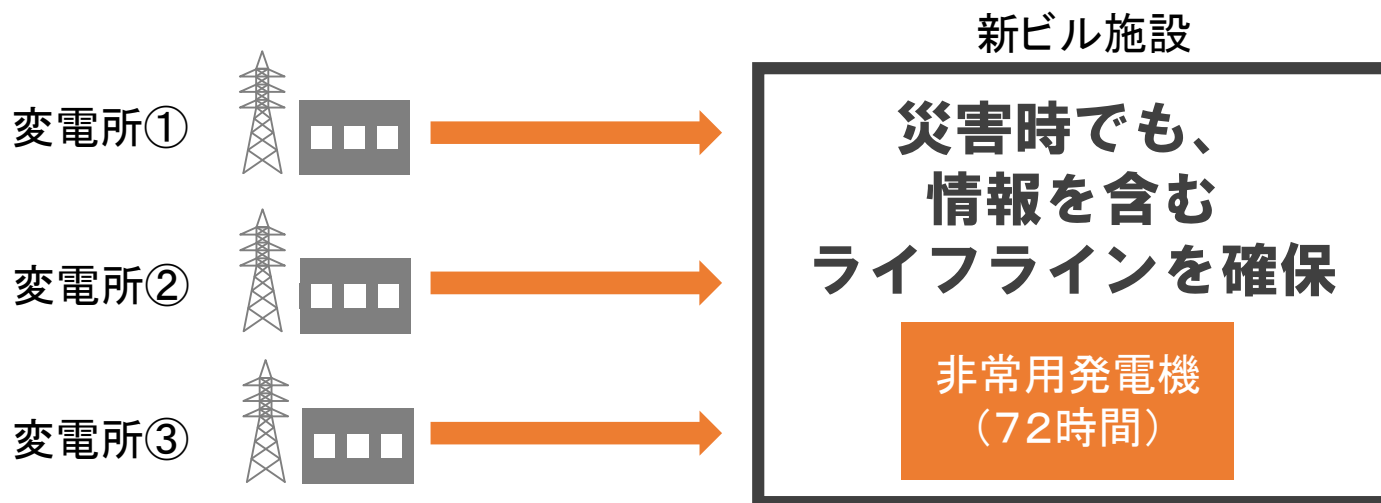


構造

- ✓ 度重なる大地震にも耐える強靱な構造
(重要度係数1.5相当)

ライフライン

- ✓ 3つの変電所から受電(受電系統の3重化)
- ✓ 非常用発電の現行4時間 ▶ 72時間





トラブル発生時は、社長トップの総合対策本部が 関係者調整や情報共有を実施

KKIAC

総合対策本部

【空港全体の統括マネジメント】

本部長:KKIAC社長
総括、指揮命令、総合調整など

支援

構成員

24H電力応急復旧
物資・人員輸送
運航再開判断支援
職員派遣・避難場所提供
メディア発信・報道対応

航空局

空港
事務所

本省
大阪局

連絡
調整

関係機関

自衛隊
崇城大学
CIQ
消防
警察
自治体
エアライン

交通機関
グラハン
通信会社
電力会社
ガス会社
給油会社
工事会社

連絡
調整

3. 路線の誘致および維持に向けて

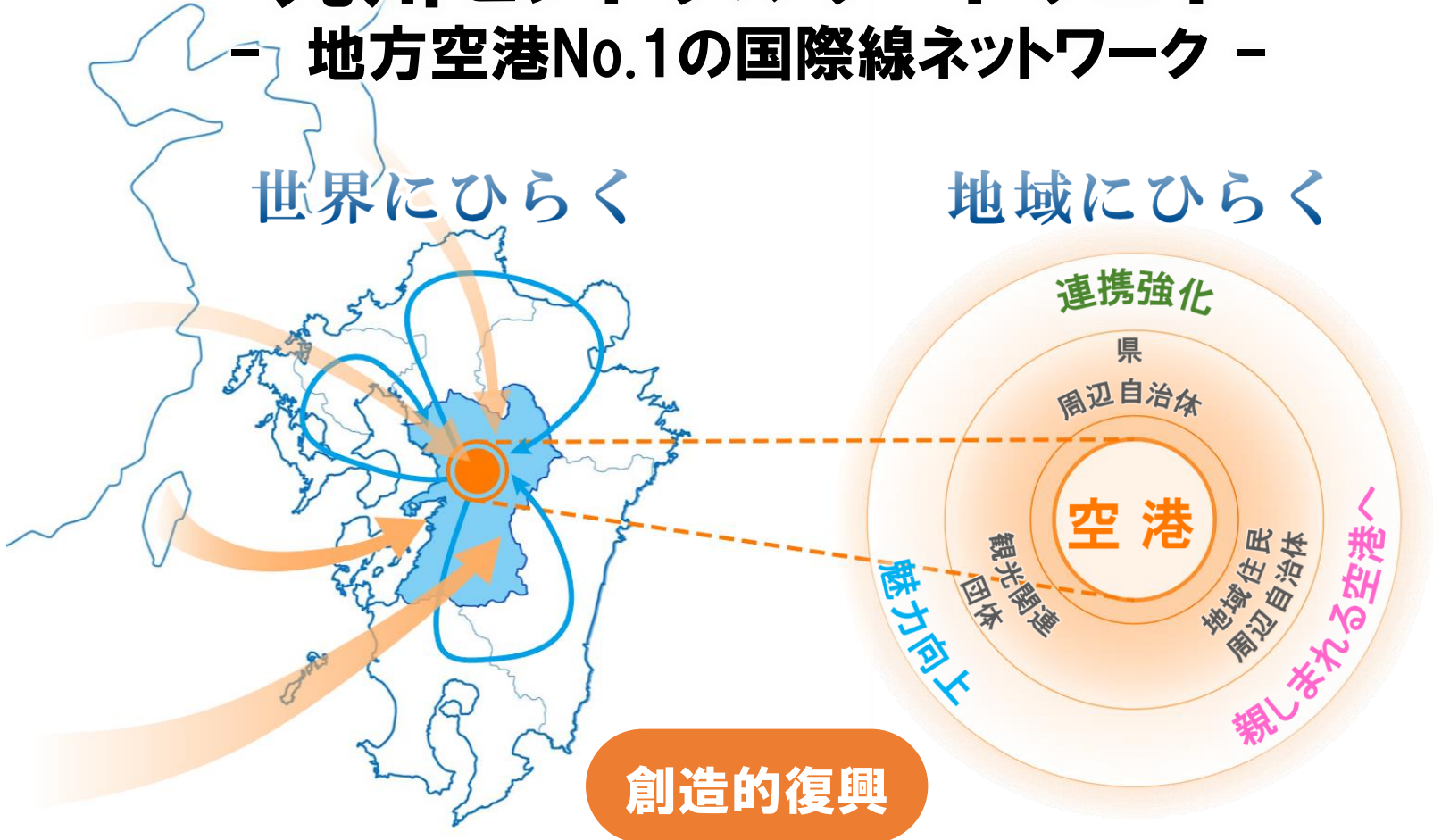
- ◆ インバウンド旅客は空港の搭乗数を増加させるうえで、非常に大きな要素。
- ◆ そのためには、二次交通手段の充実や大型ホテルの不足などの課題解決が求められる。
- ◆ とくに、JRアクセス線の早期乗り入れがインバウンド取り込みのためにもとても重要。
- ◆ 九州を一つの観光資源と考え、他の地域・空港との連携が必要。
- ◆ また、航空会社は片道だけの需要では就航が難しく、熊本から海外へのアウトバウンド需要の掘り起こしも同時に行う必要あり。

観光と並行してビジネス需要の開拓が必要。³¹

- 最後に -

世界と地域にひらかれた 九州セントラルゲートウェイ

- 地方空港No.1の国際線ネットワーク -



An architectural rendering of the Aso Kumamoto Airport terminal building. The building features a prominent, curved roof structure with a dark, ribbed facade. The name "ASO KUMAMOTO AIRPORT" and its Japanese equivalent "阿蘇くまもと空港" are displayed on the upper part of the facade. The foreground shows a paved area with a red carpeted walkway, where several people are walking. A few cars are parked or driving on the adjacent road. The overall scene is set against a clear blue sky.

ご清聴ありがとうございました。